

中級日本語文法

科目名	G410/G440:中級日本語文法 Intermediate Japanese Grammar
担当教員	内山
対象学年(日本語レベル)	中級 日本語能力試験 N3 程度の人
学期・曜日・講時	前期・後期・木曜・1講時・2講時
キャンパス・教室	川内北キャンパス・C407
ポイント数	2
使用言語	
授業の目的と概要	レポート、研究発表要旨、学術論文などの学術的文章でよく使われる文型・表現や展開パターンを学び、書く力を身につけます。学期末には、専門に関する小論文を書きます。
学習の到達目標	CEFR/ JF 日本語教育スタンダード B1 レベル 以下の目的達成に必要な文型・表現を理解し、時、場所、場合に応じて使えるようになる。 ・計画、行動についての短い理由や説明を聞いて理解したり、自分の意見を話したりできる(聞くこと、話すこと) ・自分の専門分野や興味の範囲内の簡潔な事実関係のテキストを読んで、主題を理解することができる(読むこと) ・身近な話題について、一連の短い別々になっている要素を、一つの流れに結び付け、結束性のある簡単なテキストを書くことができる(書くこと)
授業内容・方法と進度予定	JLPT N2 合格のために必要な 以下のような表現のための文法形式を 類義表現と 比較しながら学ぶ。 -状況、理由、判断、心情、可能性を述べる(例:～から言う と からすると、 からして、 から見ると、など) -成果、進行状況、条件、変化、想定を述べる(例 ～とともに、～にともなって、～につれて、～にしたがって、など) -責任、義務を述べる(例・わけではない わげがない、わけにはいかない) -前後のつながり、補足を述べる(例: ～ということは、と いうのは、 したがってただし、など) -学んだ表現を大学の授業で聞いたり、専門的な文献を読んだりした時に理解できるようにする。 -学んだ表現を、口頭発表などで話したり、レポート作成などで書いたりする時に使えるようにする。
成績評価方法	試験の成績(50%): 中間試験、期末試験 平常点(50%): 出席、予習(宿題)、クラス活動への参加、発表、レポート
教科書および参考書	『「日本語能力試験」対策 日本語総まとめ N2 文法』¥1,200 (アスク出版) ISBN: 978-4-87217-729-9
授業時間外学習	
その他	※変更する可能性があります。

中級日本語文法・作文

科目名	G/W410 中級日本語文法・作文
担当教員	内山
対象学年(日本語レベル)	中級 日本語能力試験 N3 程度の人
学期・曜日・講時	後期 木2
キャンパス・教室	川内北キャンパス・C407
ポイント数	2
使用言語	日本語
授業の目的と概要	身近で関心のある話題についての記事や論説文を読んだり、それについての簡単なレポートを書いたり、また大学の授業を聞いたり、そこで意見を述べたりするために必要な文法・語彙知を身につけ、中上級から上級へとつながる「読む」力を養成します。
学習の到達目標	CEFR/ JF日本語教育スタンダードB1 レベル 以下の目的達成に必要な文型・表現を理解し、時、場所、場合に応じて使えるようになる。 1. 結束性のある簡単なテキストとして、表やグラフなどのデータを用いて事実を客観的に述べたり、自分の意見や考えを根拠だてて述べることができる。 2. 「依頼」「お知らせ」「承諾」「お願い」などの目的でメールや手紙をやりとりできる。
授業内容・方法と進度予定	<p><読む・書く> 授業の詳しい内容は、1回目の授業のときに、教室で指示があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 随筆を読む ・ 時間の経過を中で変化する筆者の心情を読み取る ・ 解説文を読む ・ 理由を探しながら読む ・ 2つの物事の関係を読み取る ・ 説明文を読む ・ 条件と結果を表す文を読む ・ 新聞記事(社会面)を読む ・ 記事の概要をすばやくつかむ ・ 事実関係を読み取る ・ 解説文を読む ・ 物事に関係するエピソードを読み取る ・ 小説を読む ・ 登場人物の行動と心の内を追いながら、自由な解釈を楽しむ ・ 筆者の言いたいことは何か、事実と評価を読み取る ・ 提言を的確に把握する ・ 新聞記事(文化面)を読む ・ プロフィールを通して、その人を知る ・ 意見を表明する文を読む ・ 筆者の主張をその根拠や具体例から読み取る ・ 手紙文(依頼状)の内容を読み取る ・ 筆者の死についての考え方(死生観)を読む ・ 論文を読む ・ 筆者の主張を理解する ・ 随筆を読む ・ 筆者の主張を読み取る ・ 対比しながら読む
成績評価方法	試験の成績(50%)、平常点(50%:クラス活動への参加(30%)、宿題(20%))
教科書および参考書	『みんなの日本語中級II』¥3,024 (スリーエーネットワーク) ISBN: 978-4-88319-590-9 『みんなの日本語中級 翻訳・文法解説 ¥1,944 (スリーエーネットワーク) ISBN: 978-4-88319-614-2
授業時間外学習	
その他	

中級日本語聴解

科目名	G/W410 中級日本語聴解
担当教員	菅原,澤邊
対象学年(日本語レベル)	日本語能力試験N3 程度の人
学期・曜日・講時	後期・木曜日・2講示
キャンパス・教室	川内北キャンパス・C407
ポイント数	2
使用言語	日本語
授業の目的と概要	日本語の「聞く」能力を高めるため、身近な話題に関する独話をニュースなどで聞いて、伝えたいことや意図、論点、気持ちの主要な点を理解する練習をします。授業後半では、日本語版『TEDx.!!』等を視聴し話し手の主張を聞き取る練習、その子テーマについて討論し日本語で話された相手の考えを理解する練習をします。
学習の到達目標	CEFR/JF 日本語教育スタンダード B1 レベル <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事、学校、余暇などの場面でごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解することができる ・ 比較的ゆっくりはっきり話された、ごく身近な話題に関するラジオなどの短いニュースを聞いて、主要な点を理解することができる ・ 自分の意見や反応を、次にすべきことや問題解決策との関連で、簡単に理由を挙げて説明して、理解させることができる ・ 関心のあるテーマについて、ある程度流暢にプレゼンテーションができる
授業内容・方法と進度予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主張の聴き取り方 ・ 要約の仕方 ・ ディスカッションの仕方 ・ プレゼンテーションの仕方
成績評価方法	平常点（50%）：予習、出席、クラス活動への参加、宿題
教科書および参考書	授業で配付します
授業時間外学習	
その他	

中級日本語会話

科目名	S400/ S410/S440 : 中級日本語会話 Intermediate Japanese Speaking/Conversation
担当教員	S400 中村/ S410 菅原
対象学年(日本語レベル)	中級
学期・曜日・講時	後期 S400 火曜・2講時/ S410 月曜・2講時
キャンパス・教室	S400 川内北キャンパス・C402 / S410 川内北キャンパス・C406
ポイント数	2
使用言語	
授業の目的と概要	関心のある分野に関連する広範囲の話題について、明確かつ体系的に話したりプレゼンテーションしたりできるようになるための会話力を身につけます。また、人間関係に配慮して、相手に伝わる発音で話すための会話力を高めます。
学習の到達目標	CEFR/ JF 日本語教育スタンダード 81 レベル <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係に配慮し、依頼・問い合わせ・日時の調整などを失礼のないように行うことができる ・関心のあるテーマについて、習った語彙・表現を使いながら、詳しく説明することができる ・相手の発言を理解し、自分の意見を言うことができる ・経験・具体例・情報をあげながら賛成・反対を言い、ディスカッションをすることができる ・相手に伝わる発音で話すことができる
授業内容・方法と進度予定	<ul style="list-style-type: none"> ・場面会話(依頼、問い合わせ、日時の調整など) ・インタビュー ・ディスカッション(賛成・反対などの意見の言い方) ・テーマに関する語彙や表現の学習 ・統計資料の説明(グラフ・表・データなど) ・発音練習(アクセント・イントネーションを中心に)
成績評価方法	試験の成績(50%) 平常点(50%)：予習、出席、クラス活動への参加、宿題
教科書および参考書	授業で配付します。
授業時間外学習	
その他	※変更する可能性があります。

中級日本語読解

科目名	R400/R410/R440: 中級日本語読解 Intermediate Japanese Reading Comprehension
担当教員	上原
対象学年(日本語レベル)	中級 日本語能力試験 N3 程度
学期・曜日・講時	前期・後期・火曜・1講時
キャンパス・教室	川内北キャンパス・C402
ポイント数	2
使用言語	
授業の目的と概要	レポートや学術論文などの論説文を読むのに必要な文法知識、構造に関する知識を学びながら、各自の専門分野の論文を独力で読む基礎的読解力を身につけます。授業では、要約練習も行います。
学習の到達目標	CEFR/ JF 日本語教育スタンダード B1 レベル <ul style="list-style-type: none"> ・主張のはっきりした論説的な文章の主要な結論を把握することができる ・ある程度長いテキストを読んで、必要な情報を探し出すことができる ・現代の問題に関する記事やレポートを読んで、必要であれば辞書を使ったり図表と関連づけたりしながら、理解することができる
授業内容・方法と進度予定	<ul style="list-style-type: none"> ・論説文などでよく使われる語彙、表現 ・文章構造 ・共起する語、表現 ・読むための文法(書き言葉の特徴、助詞相当語、複文の構造、指示表現、図表表現、考察の表現、帰結の表現、意見・主張の表現、反語疑問文) ・読解ポイント(推測、図表や結果の説明に使われる表現、論の方向、漢字から意味を推測する、接続表現から予測する、要約、構成、実験・調査方法を読み取る、結果と考察を読み取る、結論を読み取る)
成績評価方法	試験の成績(20%)：期末試験 平常点(80%)：予習、出席、クラス活動への参加、宿題
教科書および参考書	『改訂版 大学・大学院留学生の日本語③ 論文読解編』¥1,944 (アルク) ISBN :9784757426337
授業時間外学習	
その他	※変更する可能性があります。

中級日本語作文

科目名	W400: 中級日本語作文 Intermediate Japanese Writing/Composition
担当教員	高橋
対象学年(日本語レベル)	中級
学期・曜日・講時	前期・後期・火曜・1講時
キャンパス・教室	川内北キャンパス・M303
ポイント数	2
使用言語	
授業の目的と概要	レポート、研究発表要旨、学術論文などの学術的文章でよく使われる文型・表現や展開パターンを学び、書く力を身につけます。学期末には、専門に関する小論文を書きます。
学習の到達目標	CEFR/ JF 日本語教育スタンダード B1 レベル <ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題について、一連の短い別々になっている要素を、一つの流れに結び付け、結束性のある簡単なテキストを書くことができる ・専門範囲について、集めた情報を統括し報告するテキストを書くことができる ・専門範囲について、集めた情報に対して自分の意見を提示するテキストを書くことができる
授業内容・方法と進度予定	<ul style="list-style-type: none"> ・作文の基本 ・課題の提示 ・目的の提示 ・定義と分類 ・図表の提示 ・変化の形容 ・対比と比較 ・原因の考察 ・列挙 ・引用 ・同意と反論 ・帰結 ・結論の提示
成績評価方法	平常点 (80%) : 出席、クラス 活動への参加、宿題(課題作文) 期末レポート (20%) ・ 2000 字程度の小論文または 研究計画書
教科書および参考書	『改訂版 大学・大学院留学生の日本語④ 論文作成編』¥1,944 (アルク) ISBN:9784757426344
授業時間外学習	
その他	※変更する可能性があります。

中級日本語漢字・語彙

科目名	K400: 中級日本語漢字・語彙 Intermediate Japanese KanjiNocabulary
担当教員	遠藤・内山
対象学年(日本語レベル)	中級
学期・曜日・講時	前期・後期・火曜・3講時/金曜・4講時
キャンパス・教室	川内北キャンパス・C405(火3) / 川内北キャンパス・C402(金4)
ポイント数	2
使用言語	
授業の目的と概要	レポートや学術論文などの論説文を読んだり書いたりするのに必要な漢字語彙の知識を実践的な練習を通して身につけます。
学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広範な語彙力があり、使用頻度の高い慣用句などを含むテキストを読むことができる ・ 辞書などを使えば、自分の専門外であっても専門記事が理解できる ・ 問い合わせや、問題を説明するメッセージを書くことができる ・ Eメールやレポート、発表原稿を書くために、漢字語彙を適切に使用することができる
授業内容・方法と進度予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語ワープロに関する漢字 ・ 意見・評価に関する漢字 ・ 意見・評価に関する修飾語 ・ 修飾語に関する漢字 ・ 序論に関する漢字 ・ 実験・観察に関する漢字 ・ 調査に関する漢字 ・ 数値に関する漢字 ・ 図表に関する漢字 ・ 結果・考察に関する漢字 ・ 論文に頻出する修飾語 など
成績評価方法	<p>試験の成績 (50%)</p> <p>平常点 (50%) : 小テスト、出席、クラス活動への参加、宿題、発表</p>
教科書および参考書	『改訂版 大学・大学院留学生の日本語⑤ 漢字・語彙編』 ¥2,376 (アルク) ISBN: 9784757411791
授業時間外学習	
その他	※変更する可能性があります。

Eラーニング

科目名	E000: E ラーニング E-learning
担当教員	押谷 祐子
対象学年(日本語レベル)	入門～上級
学期・曜日・講時	前期・後期・木曜・4講時
キャンパス・教室	川内北キャンパス
ポイント数	2
使用言語	日本語
授業の目的と概要	東北大学が提供する ALC Net Academy やその他ウェブ上のプログラムを利用し、自身の学習目的とレベルに合わせて自習する。学期の初めに教師と学習計画を立て、中間と期末に学習状況を教師がチェックする。自律的かつ継続的に学習することを目的とし、毎回の出席は求めない。
学習の到達目標	自分で設定した学習計画を振り返り、教師と共に自己評価する。
授業内容・方法と進度予定	出席した学生には、個別セッションとして 20- 30 分程度、自習した部分の理解チェック や会話練習を行う反転授業形式。他のクラスの課題(プロジェクトや作文など)をウェブで調べて学習したり、日本語能力試験のサイトで試験対策を行ったりするのも自由。
成績評価方法	Pass/Fail 方式。学習計画に沿った学習履歴が確認できれば評価する。
教科書および参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・ALC NetAcademy (文字、語彙、聴解、読解、ミニテスト) ・国際交流基金「まるごと+」(補助教材としてテキスト版) 「JF にほんごe ラーニング みなと」 ・「できる日本語」(アルク)のオンライン教材とCD ・NHK 動画ニュース や字幕付き手話ニュース 上記のほか、日本語学習ポータルサイト「NIIONGO e な」などを参考に自分で選択したウェブ教材を使用
授業時間外学習	
その他	※変更する可能性があります。

中級日本語能力試験N2対策

科目名	N480:中級日本語能力試験 N2対策
担当教員	遠藤和彦・島崎薫
対象学年(日本語レベル)	SPOT90 65点以上取得者
学期・曜日・講時	後期・木曜日・3講時
キャンパス・教室	川内北キャンパス・C307
ポイント数	2
使用言語	日本語
授業の目的と概要	「日本語能力試験(JLPT)」は留学生の就職活動において最も重要とされる資格試験の一つである。本科目は、日本国内で就職を希望する学生を対象に、「日本語能力試験 (JLPT) 」 N2 に合格できる日本語力を伸ばすことを目的とする。そこで、日本語能力試験の練習問題集の学習を通して、中級レベルの表現・文型、語彙を増やし、解法のコツを身に付ける。
学習の到達目標	1) 中級文法を学ぶ。初級までの基本文法も復習する。 2) 語彙を増やす。 3) 日本語能力試験 N2の出題形式に慣れる
授業内容・方法と進度予定	1) オリエンテーション 2) 文字・語彙①、文法①、聴解① 3) 文字・語彙②、文法②、読解① 4) 文字・語彙③、文法③、聴解② 5) 文字・語彙④、文法④、読解② 6) 文字・語彙⑤、文法⑤、聴解③ 7) 文字・語彙⑥、文法⑤、読解③ 8) 文字・語彙⑦、文法⑦、聴解④ 9) 文字・語彙⑧、文法⑧、読解④ 10) 文字・語彙⑨、文法⑨、聴解⑤ 11) 文字・語彙⑩、文法⑩、読解⑤ 12) 文字・語彙⑪、文法⑪、聴解⑤ 13) 文字・語彙⑫、文法⑫、読解⑥ 14) 文字・語彙⑬、文法⑬、聴解⑦ 15) 期末テスト 2)～4) は、授業で制限時間内に問題を解く練習を行う
成績評価方法	出席・授業態度(50%) 期末テスト(50%)
教科書および参考書	『パターン別徹底ドリル日本語能力試験 N 2』
授業時間外学習	授業の復習
その他	